

氏名	田村麻衣子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 4453 号
学位授与の日付	平成23年12月31日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)

学位論文題目	Germinal center B-cell-like diffuse large B-cell lymphoma of the duodenum is associated with t(14;18) translocation (胚中心B細胞様群の十二指腸びまん性大細胞型B細胞リンパ腫はt(14;18)転座と関連がある)
--------	--

論文審査委員	教授 松川 昭博 教授 岩月 啓氏 准教授 大内田 守
--------	-----------------------------

学位論文内容の要旨

びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 (DLBCL) は十二指腸に稀に発生するが、その臨床病理学的特徴はあまり解明されていない。我々は十二指腸 DLBCL 15 例を対象に免疫組織化学染色や FISH 法を用いその特徴を調べた。

十二指腸 DLBCL は下行脚に多く発生し、潰瘍型が多かった。免疫組織化学染色の結果により DLBCL の 2 つの亜型に分類すると、11 例が胚中心 B 細胞様 (GCB) タイプであり、胃や大腸 DLBCL と比較し有意に多いことが分かった。また FISH 法により 13 例中 3 例に t(14;18)転座が検出され、全例 GCB タイプであった。t(14;18) 転座は胃と大腸 DLBCL では検出されず、十二指腸に有意に存在する傾向が示された。さらに t(14;18) 転座を有する症例は有さない症例より予後が悪かった。

十二指腸 DLBCL は GCB タイプが優位であり t(14;18) 転座を有する点で、他の消化管 DLBCL とは異なっていた。

論文審査結果の要旨

十二指腸原発のびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 (Diffuse large B-cell lymphoma: DLBCL) の臨床病理学的特徴はあまり解明されていない。DLBCL は遺伝子発現の違いにより、胚中心 B 細胞様タイプ (Germinal center B-cell-like; GCB) と活性化 B 細胞様タイプ (Activated B-cell-type; ABC) に分類される。本研究では、15 例の十二指腸原発 DLBCL を対象に亜型分類と予後について検討した。その結果、GCB タイプが 11 例と他の胃や大腸原発の DLBCL に比較して有意に多いことを見出した。FISH 法により、13 例中 3 例に t(14;18)転座を検出したが興味深い事に全例 GCB タイプであった。t(14;18)転座は胃や大腸 DLBCL では検出されなかった。t(14;18)転座を有する症例は有さない症例より予後が悪い事も見出した。

症例数が少なく、さらなる検討の余地はあるが、十二指腸 DLBCL は他の消化管と異なる臨床病理学的特徴を有することを報告した点は評価できる。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。